

クルリンとほしぞらさんぽ 2月号



年末・年始に晴れの日が続きましたね

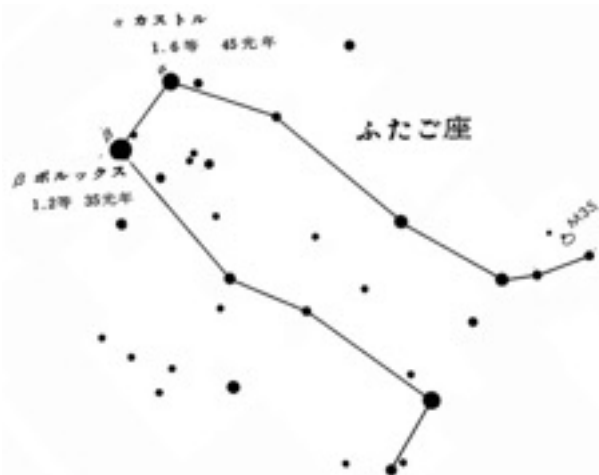
ほしぞらさんぽできましたか。くつきりと星々が輝いて見えるこの季節に、寒いけれどぜひほしぞらさんぽをしてみましょよ。2月の夜空には冬の星座が全部見えていますよ。

冬の星座をいくつ数えられますか

午後8時過ぎになると、空には冬の星座が並んでいます。かなりにぎやかですね。星座を数えてみましょうか？ 次ページの星図を参照しながら星座早見盤を活用して探して、それぞれ指さし確認してみましょう。

まず**オリオン座**はどこ？ ほぼ真南に立っていますよ。三ツ星も三ツ星も見えるでしょう？ 小三ツ星とみっしを双眼鏡で見ると星ではない何か広がりがあるものとわかります。オリオン座には明るい星がどの星座よりもいっぱい集まっているので、とても目立っていますね。

オリオン座の左側（東側）には**ふたご座**がいます。図にあるM35は散開星団と呼ばれる星の集まりで、双眼鏡で細かい星がたくさん集まっている様子が見えますよ。



天頂付近には**ぎょしゃ座**の5角形が見えていますが、ぎょしゃ座の中にも星の固まりが3つありますから、双眼鏡で探してみましょう。オリオン座の西側（右側上方）には**おうし座**がいて、目印の**アルデバラン**や**すばる**（**プレアデス星団**）が見えています。さらに、あなたが空の低いところまで見える場所に立っているならば、オリオン座の

下には**うさぎ座**が、オリオン座の左下（東側）には**おおいぬ座**が見えているはずですね。これで冬の星座はいくつでしょう？ もう6つも見つけましたよ。

今度は北を向いて見上げてみましょう。**北極星**は指させますか。北極星を探すには方位磁石を使って北を探してもいいけれど、星空になれている人ならば、W字の形に並んでいる星座を探します。そう**カシオペヤ座**ですが、真北よりずっと西側（左側）の低いところに見えているはずですよ。それが見つかったら下図のような位置関係の2等星



を探します。それが**北極星**ですね。北極星の反対側（右側=東側）には**おおぐま座**の中の**北斗七星**のひしゃくの一部分が見えています。これも探してね。

北極星が見つかったら、星座早見盤で**ペルセウス座**と**さんかく座**もさがしましょう。全部で星座はいくつになるかな。他にも小さい星座がありますから、自分で探してごらんください。

冬の大三角

星座を見つけながら、**冬の大三角**も見つけましょう。冬の大三角の3つの星、名前をスラスラ言えますか。星座名と一っしょにくっつけて覚えるようにしましょうね。**オリオン座**の**ベテルギウス**、**おおいぬ座**の**シリウス**、**こいぬ座**の**プロキオン**ですね。

でも今年の冬空には明るい**火星**が空高くがんばっているのです、**冬の大三角**をまちがえる人

がいるのでは、と心配しています。冬の三大角は星座の名前ではありませんよ。

火星は惑星わくせいですから星座早見盤にはのっていないのですが、国立天文台の星図には赤くえがかれていますから必ず確かめましょう。

赤い星・火星のすぐそばに、もう一つ赤っぽい星が見えませんか？ **おうし座のアルデバラン**です。この星が赤っぽいのは、赤色巨星と呼ばれるものすごく大きな星で、ふくらみすぎて表面の温度が低く（約4000度）なってしまったからなんですって。

伊勢原の夜空のように明るい空では、星の色がよくわからない人もいるかもしれません。他の星は何色に見えていますか。シリウスはどうでしょう、ベテルギウスは？ カペラは？

星の色がよくわからないなあと感じたら、双眼鏡で見てみましょう。星の光を肉眼よりずっとたくさん集められるので、色が分かりやすくなります。口径4cmの双眼鏡だったら肉眼の30倍以上も光を集められますよ。

最後に一等星を数えましょう。冬の空に見られる一等星は、おうし座に**アルデバラン**、ふたご座に**ポルクス**、ぎょしゃ座には**カペラ**、こいぬ座には**プロキオン**、そしてオリオン座に2つ（**問題1**）と**リゲル**、おおいぬ座に1つ（**問題2**）、と全部で7つあります。ただし火星と木星は惑星ですから数えませんが、問題1と2の星の名前はわかりますか？

問題1=ベテルギウス、問題2=シリウス。

